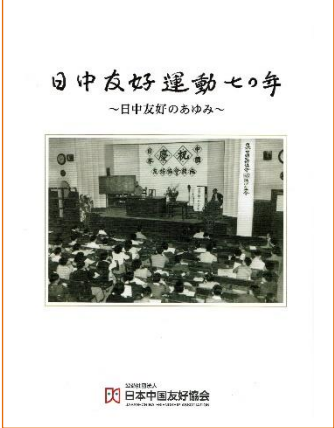




TNC
通信

2020
12月号



協会で創立70周年記念 「日中友好運動七〇年」を出版

(公社)日本中国友好協会が創立70周年の企画として進めてきた記念出版が完成しました。内容は年表(1950～2019年)、宮城県他各県協会の歩み、協会の主要事業の紹介の他、協会結成の趣旨、日中間の共同声明、県・地区協会の一覧等が収められており、A4サイズ、160ページ。定価は1980円(送料別)です。購入希望の方は県協会または富谷市日中でまとめておりますので、役員にお申し込み下さい。

「漢方健康講座」行います

県協会が主催し好評の講座。今回は“漢方医学から考える免疫力アップ”を中心に行います。冬本番を迎え、ご参考に！
日 時：12月6日(日)10時～11時半
会 場：国際センター研修室B
参加費：500円(定員15人)
講 師：曾萍氏
申し込み：県協会 022(274)3811 まで

《和製漢語と中国語について》学ぼう！

富谷市日中の中国語講座を担当している周明さんを講師に迎え、「和製漢語と中国語」と題して、日本語で楽しいまた親しみやすい内容となります。和やかな雰囲気、質問も自由で進めますので、気軽にご参加ください！
〈日時〉 12月5日(土)14時～15時30分の予定
〈会場〉 富ヶ丘公民館第1会議室
〈参加費〉 500円 〈申込〉横山=090 7525 8669迄
〈その他〉 感染予防のため、マスク及びスリッパを持参。

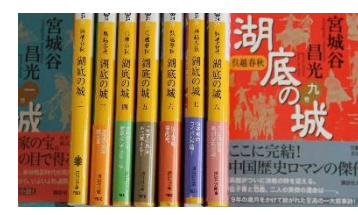
私の友好記憶

フォト「パンダとの出会い」 水戸 雄二

パンダと言えば日中友好のシンボル。東京・上野動物園にカンカンとランランが来たのは1972年の10月28日、お披露目は11月4日の事。仕事で東京に5年いたが、お目にかかれなかった。生パンダを見たのは1985年1月に中華全国青年連合会との交流の折りに、上海杂技団を見学したとき(㊤㊥)。あとは吉林省との植林交流の折りに、2012年4月の北京動物園(㊦㊧)。圧倒的な内容で感動した。2016年9月、長春・東北虎園(㊨㊩)では他の動物がメインで観客もあまりいない、残念な展示。そして2019年4月に本場四川省の「成都大熊猫繁殖研究基地」(㊪㊫)で大満足。5回目は八木山動物公園で、と願っている。



『湖底の城—呉越春秋』(1～9巻) 宮城谷昌光著、講談社文庫 平均650円



九年をかけた大作の文庫本が完結した。題材は春秋戦国時代の呉と越の国の争い、

「臥薪嘗胆」の薪の中に伏せた呉王・夫差と胆を嘗めた越王・句(勾)踐の対立であるが、本書の主題は楚人の伍子胥(ごししょ)と范蠡(はんれい)を描くことにより、春秋末期の時代と人物を描いている。9巻のうち伍子胥篇に6巻、范蠡篇に3巻という構成で、呉越の決戦となるのだが、なぜ二人は楚人なのか、そして最後に「湖底の城」という謎のタイトルが解けるのである。小説では范蠡は西施(せいし)の許婚…いや、やめておこう。いつものように著者の博識(漢字の豊富さ)に感心しながら、ストーリーの面白さ、人間の魅力にぐんぐん惹かれてしまう。挿絵もコンビである画家・原田維雄氏の版画で **Shu ben** 決まりだ。

水戸稔さんがフルートリサイタル #
富谷市日中会員の水戸さんの第12回リサイタル「フルート音楽の愉しみ 師弟と共演」が11月8日、宮城野区文化センターで行われ、独奏や三重奏等で鑑賞者を魅了しました。